

第7回多言語競演レシテーション大会

英米学科 森田 久司
国際関係学科 高橋 慶治

「多言語競演レシテーション大会」は、本学が独立行政法人化した2008年に開催され、その後、本学における外国語教育活動の成果を披露する場の一つとして、毎年学祭中に開催されてきた。

本年も、11月1日（土）にS201教室で催された。この催しは、学生が本学で学習中の外国語（留学生の場合は日本語）で文学作品などの一部を暗唱し、学習年数により2部に分かれてパフォーマンスを競い合い、聴衆による投票、および審査委員会による協議で優秀者が選ばれる。今年度は、第1部（学習1年目の履修者）に5組、第2部（学習2年目以上の履修者）に6組、計11組が参加した。当日は、午前10時半に吉池孝一外国語学部長の挨拶で幕が開き、開会直前に行われたくじ引きにより以下の順でレシテーションが披露された。

【第1部】

1. 中国語：澤木 奈津予、鈴木 邑 （中国学科1年）
演題：「水調歌頭」
2. カタルーニャ語：山口 涼里、久保 美咲 （スペイン語圏専攻3年）
演題：「Corrandes de la parella estable （安定した2人の歌）」
3. ポルトガル語：小原 芽惟 （スペイン語圏専攻1年）
演題：「Livre Estou （Let it go）」
4. スペイン語：鈴木 将之 （スペイン語圏専攻1年）
演題：「Poderoso caballero es don Dinero （お金こそ権力を持つ紳士）」
5. ドイツ語：水野 星来、川井 映穂、中島 愛菜 （ドイツ語圏専攻1年）
演題：「Heides Lehr- und Wanderjahre （アルプスの少女ハイジ）」

【第2部】

1. ドイツ語：神谷 なつみ （ドイツ語圏専攻4年）
演題：「Rede des SPD-Ehrenvorsitzenden Willy Brandt nach dem Mauerfall (Berlin, am 10. November 1989) (壁崩壊後のSPD名誉議長ヴィリー・ブランドの演説(ベルリン、1989年11月10日))」
2. 英語：上手 結有希、鈴木 萌水 （国際関係学科1年）
演題：「Malala Yousafzai: 'Our books and our pens are the most powerful weapons'」
3. 英語：須賀 綾子 （英米学科2年）
演題：「The true story of the three little pigs (三匹の子ぶたの真実)」
4. スペイン語：祝 優綺、新實 俊樹、峯田 真由 （スペイン語圏専攻2年）
演題：「México independiente （メキシコの独立）」
5. 英語：平野 有紗、梅村 百代、奥村 春美、河合 晴香、富田 美帆、若林 亜弥 （英米学科1年）
演題：「Thumbelina （おやゆび姫）」
6. ロシア語：那須 茉波 （国語国文学科2年）
演題：「Красная шапочка （赤ずきん）」

以上の演技に引き続き投票が行われた。第1部で57名、第2部で69名の投票があり、以下のとおり最優

秀賞と優秀賞が決定した。

【受賞者】

- 第1部 ■最優秀賞 ポルトガル語：小原 芽惟 （スペイン語圏専攻1年）
■優秀賞 スペイン語：鈴木 将之 （スペイン語圏専攻1年）
第2部 ■最優秀賞 スペイン語：祝 優綺、新實 俊樹、峯田 真由 （スペイン語圏専攻2年）
■優秀賞 ドイツ語：神谷 なつみ （ドイツ語圏専攻4年）

さらに、審査委員による協議の結果、以下のとおり特別賞が決定した。

- 学長賞 英語：上手 結有希、鈴木 萌水（国際関係1年）
■学部長賞 中国語：澤木 奈津予、鈴木 邑

結果発表と表彰のあと、鎌倉やよい副学長から講評をいただき、今大会もつつがなく終了した。以下、受賞した皆さんの喜びの声を紹介する。

第1部

- 最優秀賞 ポルトガル語
小原 芽惟

この度は第一部最優秀賞を頂き、大変嬉しい限りです。このレシテーション大会の参加を通じて、より言語学習への意欲が高まりを感じられました。また、同級生や先輩方の発表は自分にとって非常にいい刺激となりました。

私は今回、ディズニー映画「アナと雪の女王」の「Let It Go」をポルトガル語で挑戦するにあたり、発音や声の大きさはもちろん、作品のキャラクターの気持ちも意識しながら練習しました。発音等に苦労しながらも、とても楽しく取り組むことができました。

指導して下さいった先生、文章の翻訳に協力頂いた先輩方、そして応援して下さいった多くの皆さんに心から感謝しています。本当にありがとうございました。

- 優秀賞 スペイン語
鈴木 将之

この度は愛知県立大学第7回レシテーション大会第一部にて、優秀賞という素晴らしい評価を受けて頂き誠にありがとうございました。

関係者の皆様、私を評価してくださった方々、そして私を指導してくださった先生方に心よりお礼を申し上げます。

今回のレシテーション大会、私はスペインの詩の朗読で出場させていただきましたが、本番当日は他の出場者の方々のすばらしい発表を聞いた後だったというのもあり緊張してしまいましたが、ネイティブの先生と練習した時に言われたことを思い出し、またそれをしっかりとできたのでよかったです。

今後も今回の経験を生かし、よりはっきりとした発音で、より感情を込めたスペイン語を習得できるように精一杯スペイン語を学んでいきたいと思います。



第2部

■最優秀賞 スペイン語 祝 優綺、新實 俊樹、峯田 真由

今回、沢山の方のサポートと応援無しには、この賞を受賞することはできませんでした。

夏休み前からの作品決めや、発表に至るまでの指導をしてくださった先生方。練習に付き合い、ずっと応援してくれた同学科の友達。この場を借りて、心からの感謝を伝えたいと思います。本当にありがとうございました。

練習の際には、レシテーションということで、人と会話をすることとは違う、伝えることや表現することの独特の難しさに苦戦したのを覚えています。

また、この発表を通じて、言語やその国の文化・歴史等の広い分野において興味を深め、知識を広げることが出来ました。

私たちの発表を聞いて、スペイン語に興味を深めてくれた方が1人でもいることを願っています。



■優秀賞 ドイツ語 神谷 なつみ

この度は優秀賞を頂くことができ、大変嬉しく思います。私がヴィリー・ブランドの演説をテーマに選んだのは、2014年がベルリンの壁崩壊から25周年という節目の年であったということと、自分の卒業論文のテーマがベルリンの壁に関する事だったからです。発表当日は緊張もしましたが、思いきった発表ができ、それ以上に楽しむことができました。この大会で自分の研究内容への理解を深めることができましたし、ドイツ語で伝えたいことを表現する力や、人前で話す度胸を身につけることができました。この大会に参加することができて本当によかったです！ありがとうございました。



■学長賞 英語 鈴木 萌水、上手 結有希

私たちはこのレシテーション大会での題材を選ぶにあたって先生からのアドバイスを受け、マララ・ユスフザイさんの国連演説を選びました。

演説に込められた、女性の権利と子どもたちの教育を訴える力強さを、日本の大学生である私たちの立場でいかに表現できるかという点に注意して練習を重ねました。

人前で英語のスピーチをしたことは私たちにとって大きな経験となりました。そのうえで賞をいただき、さらに大きな自信につながりました。

また、もし私たちが大会に参加することがなければ他の方の発表を見ることはなかったと思います。さまざまな言語の発表は母語の日本語や触れる機会の増えた英語以外の言語への興味、そして発表された内容に含まれる文化や歴史にふれることができました。



■学部長賞 中国語
澤木 奈津予、鈴木 邑

今回は、当日までの本当に多くの方の支えのおかげでこのような賞をいただき、光栄です。中国の詩を暗唱する貴重な体験を通して、その国の文化、歴史などにも触れることが、できました！ありがとうございました。(澤木)

私がレシテーションに参加してみようと決心した理由は、何か新しいことに挑戦してみようと思ったからです。練習を始めたのが遅かったこともあり、短期間で覚えなければならないことが辛かったです。

しかし、中国語の発音も良くなり、中国語詩への理解を深めることができてとてもよい経験になりました。(鈴木)



今大会も多くの参加者と参観者がいらっしやり、熱気あふれる大会となった。今後も多くの学生が参加し、レシテーション大会がより盛んになることを願う。

今回も大会資料の準備や受け付け、司会進行、記録映像の撮影などの作業に学生スタッフの協力があり、円滑な大会運営に資するところがあった。この学生スタッフは、高等言語教育研究所が活動支援している学生自主勉強会のメンバーである。ここにお名前を記して感謝の意を表したい。

後藤 嘉子 (ヨーロッパ学科ドイツ語圏専攻)
榊原 敦也 (ヨーロッパ学科ドイツ語圏専攻)
田中 愛 (ヨーロッパ学科ドイツ語圏専攻)
梅澤 美萌里 (国際関係学科)
美濃羽 智子 (国際関係学科)

最後に、本大会開催に向けご協力、ご支援をくださった方々にお礼を申し上げたい。ありがとうございました。

多言語競演レシテーション大会実施要領の概要

- 暗唱者は、今年度、本学の外国語の授業（全学共通・外国語科目および外国語学部専門科目）を受講し、その言語を学習している学生とする。
 - 第1部と第2部に分けて出場者を募る。第1部には当該言語を学習1年目で当該言語圏に3ヶ月以上滞在したことがない学生が、第2部には学習2年以上の学生が参加できる。英語と日本語は第2部のみの募集とする。第2部についてはレシテーション、ショートドラマなどから選べる。ただし、歌唱や楽器演奏等は除く。
 - 歌唱などを伴う演目の上演を希望する場合は、昨年度から導入された『自由演目』にエントリーすること。
 - 第1部と第2部、それぞれ1言語1件を担当教員が選抜する。ただし、英語は3~4件とする。規定時間内で2名以上が一つの作品を演じる場合、1件として参加できる。
 - 1件につき暗唱時間は3分（移動、準備、片付けを含め5分）とする。その間、関連する写真等を投影する。
 - 聴衆には暗唱内容の和訳と背景等を書いた印刷物を配布する。
 - 暗唱度、表現力、映像・印刷物の準備度、仲間力等を総合的に評価し、審査する。
- (以上、本年度の出場希望者募集用ポスター等に基づく)